

2025 年 7 月 2 日
NTT ドコモビジネス株式会社

秘密分散技術を利用したクラウドストレージサービス 「析秘 STORAGE」の提供を開始

～激甚災害でも機微なデータの損失を防ぐバックアップの実現～

NTT ドコモビジネス株式会社（旧 NTT コミュニケーションズ株式会社、以下 NTT ドコモビジネス）は、秘密分散技術^{※1}を利用し地理的に離れた 3 拠点にデータを分散保存するクラウドストレージサービス「析秘（せきひ）STORAGE」（以下 本サービス）を、2025 年 7 月 2 日より提供開始します。

本サービスにより医療を始めとするさまざまな分野での BCP 対策や機微なデータの保全を支援します。

1. 背景

デジタル技術の進展に伴い、顧客情報や製品開発情報など機密性の高いデータが日々生み出されており、データは企業のビジネスを左右する重要な資産となっています。各企業が保管するデータ量は増大し続けており、激甚災害を想定した可用性^{※2}や、ランサムウェア対策などのセキュリティを考慮した大規模ストレージが求められています。

しかし、大規模ストレージをオンプレミス環境で運用するには物理機器の管理、容量増大に伴うストレージの調達など相応の労力を要します。また、クラウド環境にバックアップする場合においても情報漏洩のリスクが存在します。

NTT ドコモビジネスは 2021 年よりデータを秘匿したまま統計演算ができる秘密計算クラウドサービス「析秘[®]」を提供していますが、機微なデータの保管・利活用を行う析秘ブランドのサービスとして、秘密分散ストレージサービス「析秘 STORAGE」の提供を開始します。本サービスにより、クラウド環境へのバックアップに対するリスクを低減し、セキュアなデータ保全を実現します。

2. 特長

本サービスは、秘密分散技術により地理的に分散された 3 環境にデータを保存することができるクラウドストレージサービスです。主な特長は以下の通りです。

(1) 秘密分散技術によりセキュアにデータを保全

本サービスは、秘密分散技術によりデータが 3 拠点に分散保存されるため、1 拠点でデータ漏洩があっても元のデータに戻すことができない高い機密性があります。また、1 拠点に激甚災害が発生し DC ごと使えなくなるようなことがあっても、継続してサービス提供を行い、残りの 2 拠点からデータを復元することが可能な、高い可用性も備えています。

(2) 利用用途に応じた柔軟な提供形態

ストレージ種別としてオンライン処理に適した標準モデルとバックアップに適したアーカイブモデルをご用意しています。実装方式として、運用作業が不要で面倒なシステム運用を行わずに

済むフルクラウド方式（分散保存先の3環境をすべてサービス側で提供）とお客さまの環境を一部活用するハイブリッド方式（分散保存先の2環境をサービス側、1環境をお客さまの環境で提供）をご用意しています。

(3) データダウンロードに課金されない料金体系

一般的なクラウドストレージサービスではデータ保管容量の料金に加え、データ転送により課金が発生します。一方、本サービスはストレージサイズのみで料金が決定し、データ転送による課金は発生しません。

(4) 簡易に利用できるインターフェース

ファイルストレージのように、ドラッグアンドドロップなど直感的に操作可能な Web インターフェースとなっています。また、Amazon S3 互換の API も備えています。

<本サービスのイメージ図>



3. 提供開始日

2025 年 7 月 2 日

4. お申し込み方法

NTT ドコモビジネスの営業担当、もしくは本件に関するお問い合わせ先までお問い合わせください。

5. ご利用料金

利用するストレージ種別、実装方式に応じ 4 つの料金プランを用意しています。いずれのプランにおいても、通常のクラウドサービスと異なり、データ転送量に従量料金は発生しません。

提供モデル	実装方式	初期費用（税込）	GB 単価 月額費用（税込）
標準モデル	フルクラウド	1,000,000 円 (税込 1,100,000 円)	360 円/GB (396 円)
	ハイブリッド		340 円/GB (374 円)
アーカイブモデル	フルクラウド		3.9 円/GB (4.29 円)
	ハイブリッド		2.7 円/GB (2.97 円)

6. 今後の展開

お客さまにさらに満足いただけるよう、ユーザビリティの向上を進めるとともに、析秘ブランドの他サービスや SDPF for Healthcare^{※3}との連携を深め、お客さまの機微な情報の安全な収集・保管・分析を一気通貫で支援いたします。

「NTT コミュニケーションズ株式会社」は 2025 年 7 月 1 日に社名を「NTT ドコモビジネス株式会社」に変更しました。私たちは、企業と地域が持続的に成長できる自律分散型社会を支える「産業・地域 DX のプラットフォーム」として、新たな価値を生み出し、豊かな社会の実現をめざします。

つながり。驚きを。幸せを。



<https://www.ntt.com/about-us/nttdocomobusiness.html>

※1：秘密分散技術とは、データを複数の断片データに分割・秘匿化する技術です。各断片データ単体では元の情報を復号できない機密性を持ち、分散された一部の断片データが消失しても残りの断片データから復元できる可用性を持っています。詳細は別紙をご参照ください。

※2：可用性とは、システムが継続して稼働できる能力のことです。

※3：SDPF for Healthcare は予防、治療、ケアなどの各ステージでのデータを収集・統合し分析するプラットフォームです。詳細は URL をご参照ください。

<https://www.ntt.com/business/dx/smart/healthcare/>

【別紙】

秘密分散技術とは

秘密分散技術とは、ある情報を複数(n 個)の意味のない断片データに変換し分散保管する技術です。個々の断片からは情報が漏れない高い機密性に加え、 n 個の断片データのうち k 個の断片データを用いることで元の情報に復元可能な高い可用性を持っています。下図は $(k, n) = (2, 3)$ の場合の例です。

